

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和5年5月18日</p>	
<p>栃木県知事 福田 富一 様</p> <p style="text-align: center;">提出者 住 所 栃木県下野市下石橋545 氏 名 丸大食品株式会社 関東工場 工場長 藤本 博章 電話番号 0285-53-0281</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	丸大食品株式会社 関東工場
事業場の所在地	栃木県下野市下石橋545
計画期間	令和5年 4月 1日 ~ 令和6年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	肉加工品製造業 [0912]
②事業の規模	製造品出荷額 2,843,957万円
③従業員数	750名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	ハム・ウィンナー製造工程⇒動植物性残渣→乾燥・発酵→肥料化、焼却→電力 ↓ 廃プラスチック類→圧縮→固形燃料化、焼却→電力 排水処理工程⇒有機性汚泥→脱水・乾燥→肥料化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>工場長（廃棄物処理統括責任者） ↓ 環境管理責任者 ↓ 各課廃棄物担当者</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	排出量	別紙1のとおり	
	（これまでに実施した取組） 別紙2のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	排出量	別紙1のとおり	
	（今後実施する予定の取組） 別紙2のとおり		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙2のとおり		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙2のとおり		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙1のとおり	
	(これまでに実施した取組) 別紙2のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙1のとおり	
	(今後実施する予定の取組) 別紙2のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙1のとおり	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙1のとおり	
	(これまでに実施した取組) 別紙3のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙1のとおり	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙1のとおり	
	(今後実施する予定の取組) 別紙3のとおり		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙1のとおり	
	(これまでに実施した取組) 別紙3のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙1のとおり	
	(今後実施する予定の取組) 別紙3のとおり		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	全処理委託量	別紙1のとおり	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙1のとおり	
	再生利用業者への処理委託量	別紙1のとおり	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙1のとおり	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙1のとおり	
	(これまでに実施した取組) 別紙3のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	全処理委託量	別紙1のとおり	
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙1のとおり	
	再生利用業者への 処理委託量	別紙1のとおり	
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙1のとおり	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙1のとおり	
	(今後実施する予定の取組) 別紙3のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和4年度実績値及び令和5年度目標値

排出・処理の区 廃棄物の種類及び実 目標	汚泥		動植物性残渣		廃プラスチック類	
	実績[t] (令和4年度)	目標[t] (令和5年度)	実績[t] (令和4年度)	目標[t] (令和5年度)	実績[t] (令和4年度)	目標[t] (令和5年度)
排出量	4,458.8	4,414.2	1,467.5	1452.8	413.1	409.0
自己再生利用量	113.4	112.3	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	4,345.4	4,301.9	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	0	0	1,467.5	1452.8	413.1	409.0
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	166.4	164.7
再生利用業者への処理委託量	0	0	1,096.5	1085.5	168.4	166.7
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行なう 業者への処理委託量	0	0	371.0	367.3	244.7	242.3

<産業廃棄物の排出の抑制に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	排水処理施設への流入負荷低減のため、生産工程での節水、洗浄方法の指導。 脱水汚泥の肥料化。	余剰汚泥の脱水効率アップのため凝集剤変更、添加量調整。 脱水汚泥の肥料化を継続する。
動植物性残渣	生産工程でのトラブル防止による廃棄物発生量抑制、不良率低減、歩留り向上を図る。	引き続き、生産工程の生産性、歩留り向上を図り、動植物性残渣の発生を抑制する。
廃プラスチック類	包装形態変更による包材使用量削減	原材料や包材梱包のビニールレス化

<産業廃棄物の分別に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	自社内での肥料化(有価物化)	肥料化継続
動植物性残渣	①加熱前液状残渣 ②加熱前固形残渣 ③包装前包材なし残渣 ④包装後包材込み残渣	現行通り継続実施。
廃プラスチック類	①RPF(固形燃料)用 ②焼却(サーマルリサイクル)用	現行通り継続実施。

<自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	—	—
動植物性残渣	—	—
廃プラスチック類	—	—

<自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	脱水後の汚泥891.8tを乾燥機により778.4t減量し、乾燥菌体肥料化(有価物化)	肥料化(有価物化)継続
動植物性残渣	—	—
廃プラスチック類	—	—

<自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	—	—
動植物性残渣	—	—
廃プラスチック類	—	—

<産業廃棄物の処理の委託に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	自社での肥料化(有価物化)	肥料化(有価物化)を継続する。
動植物性残渣	肥料化	肥料化を継続する。
廃プラスチック類	廃プラスチック類166.4tを再生利用業者へ処分委託した。	廃プラスチック類の分別、RPF(固形燃料)化を継続する。